



2026年4月28日

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート開示について

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、2022年7月からポジティブ・インパクト・ファイナンスの取り扱いを開始し、2026年3月末時点で48社のお客さまにご利用いただいております。そのうち、18社のお客さまに対しモニタリングを実施いたしました。

ポジティブ・インパクト金融原則では、透明性の確保と情報開示が求められており、モニタリング結果について開示いたします。^(※1)

当行はこれからも、お客様の多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

(※1) 当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合について、セカンドオピニオンを取得しています。

記

1.

会社名	井桁堂株式会社
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2023年9月27日

2.

会社名	常滑重機株式会社
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年3月28日

3.

会社名	株式会社山三商会
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年3月29日

4.

会社名	株式会社And Doホールディングス
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年6月28日

5.

会社名	株式会社レクスト
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年11月29日

6.

会社名	フジサービス株式会社
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年12月27日

7.

会社名	株式会社スタッフシュウエイ
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2025年2月28日

8.

会社名	ワイクリード株式会社
モニタリング基準日	2025年7月31日
当初評価日	2023年9月29日

9.

会社名	株式会社ハウセイ開発
モニタリング基準日	2025年7月31日
当初評価日	2024年9月30日

10.

会社名	加藤精工株式会社
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2023年10月31日

11.

会社名	株式会社M.O.C
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2024年3月25日

12.

会社名	株式会社光電工
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2024年11月29日

13.

会社名	株式会社アドバンテックマルダイ
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2025年1月17日

14.

会社名	有限会社志村プレス工業所
モニタリング基準日	2025年9月30日
当初評価日	2024年11月29日

15.

会社名	株式会社AIKIリオテック
モニタリング基準日	2025年9月30日
当初評価日	2024年4月30日

16.

会社名	睦産業株式会社
モニタリング基準日	2025年9月30日
当初評価日	2025年8月29日

17.

会社名	株式会社ディーシー・クリエイト
モニタリング基準日	2025年10月31日
当初評価日	2025年3月31日

18.

会社名	福玉精穀倉庫株式会社
モニタリング基準日	2025年11月30日
当初評価日	2025年3月31日

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

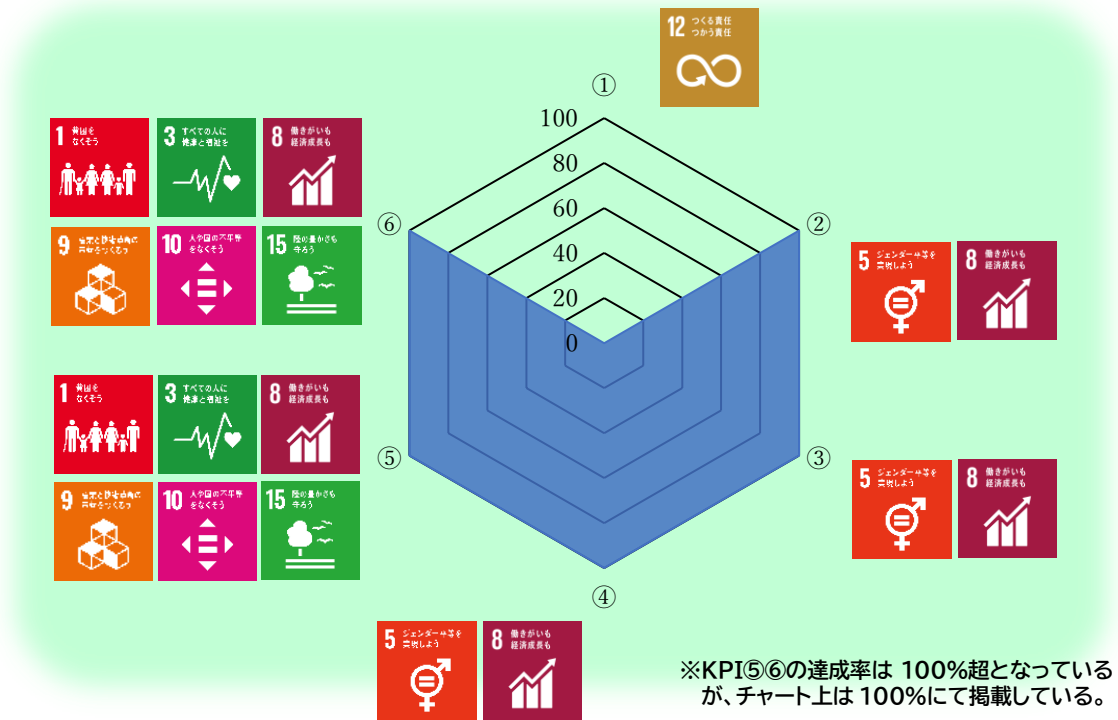
1. モニタリング対象

会社名	井桁堂株式会社
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2023年9月27日
融資・モニタリング期間	10年

2. KPI一覧

	KPI
廃棄物	①2030年6月期までに、豊田工場及び日進工場における製造ロスを2022年6月期比20%削減する
雇用	②あいちファミリーフレンドリー企業の登録 (2025年6月期までに登録)
	③あいち女性輝きカンパニーの認証取得 (2025年6月期までに取得)
	④ホワイト企業認定の取得 (2025年6月期までに取得)
食料 健康・衛生 雇用	⑤サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加 (2024年6月期の販売数量目標を2万個とし、每期前期比10%の販売数量アップ)
人格と人の安全保障 生物多様性と生態系サービス 包括的で健全な経済	⑥サステナブル商品のラインナップの拡充 (2030年6月期までにサステナブルチョコレートの商品を5アイテム発売する)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)フードロスの削減に向けた取り組み

対応方針	・ フードロスの削減		
KPI・目標	①2030年6月期までに、豊田工場及び日進工場における製造ロスを2022年6月期比20%削減する		
2024年度実績	①製造ロス率 4.06% (2022/6期実績 3.82%)	達成率	①0%
コメント	・ 受注増加対応による生産効率向上に重点を置いた。製造ライン増設と自動化促進による生産性向上による余力をフードロス削減に振り向ける。		

(2)全ての従業員が働きやすい環境づくり

対応方針	・ 働きやすい職場環境をつくるための社内体制整備
KPI・目標	②あいちファミリーフレンドリー企業の登録 (2025年6月期までに登録) ③あいち女性輝きカンパニーの認証取得 (2025年6月期までに取得) ④ホワイト企業認定の取得 (2025年6月期までに取得)

2024年度 実績	②登録済 ③登録済 ④登録済	達成率	②100% ③100% ④100%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動計画の目標(2026年7月31日まで) 計画期間内に1回、育児休暇制度の理解を進めるための説明会を実施する。→2025年10月29日実施予定 ・ 宣言内容 会社における女性社員のリーダー以上の登用人数の向上を目指します。 →係長3名、主任1名、リーダー8名 子育て、家族の介護等、ライフスタイルに合わせたより柔軟な働き方を可能にするため「在宅勤務制度」及び弊社独自の勤務体制である「始業・終業時刻の柔軟化制度」を実施します。→社内規定作成済 男女共同参画の実現に向けた社内での啓蒙活動として、ダイバーシティ研修、イクメン研修を実施します。→実施済 ・ 有給休暇取得の促進を図る。 		

(3) サステナブル商品の販売拡大を通じた課題解決の取り組み

対応方針	・ サステナブル商品の販売拡大		
KPI・目標	⑤サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加 (2024年6月期の販売数量目標を2万個とし、每期前期比10%の販売数量アップ) ⑥サステナブル商品のラインナップの拡充 (2030年6月期までにサステナブルチョコレートの商品を5アイテム発売する)		
2024年度実績	⑤販売個数 53,000 個 ⑥7アイテム (パオショコラ、パオショコラストロベリー、パオショコラキャラメル、アーモンドマイスタープレーン、アーモンドマイスターショコラ、アーモンドマイスター天空の抹茶、アーモンドマイスターメイプル)	達成率	⑤240.9% ⑥140%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年9月より販売開始。 新商品ラインナップの拡充を行ったことから販売個数も増加した。 ・ 新商品の企画を進行し、計画的に発売を行うことができた。 		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

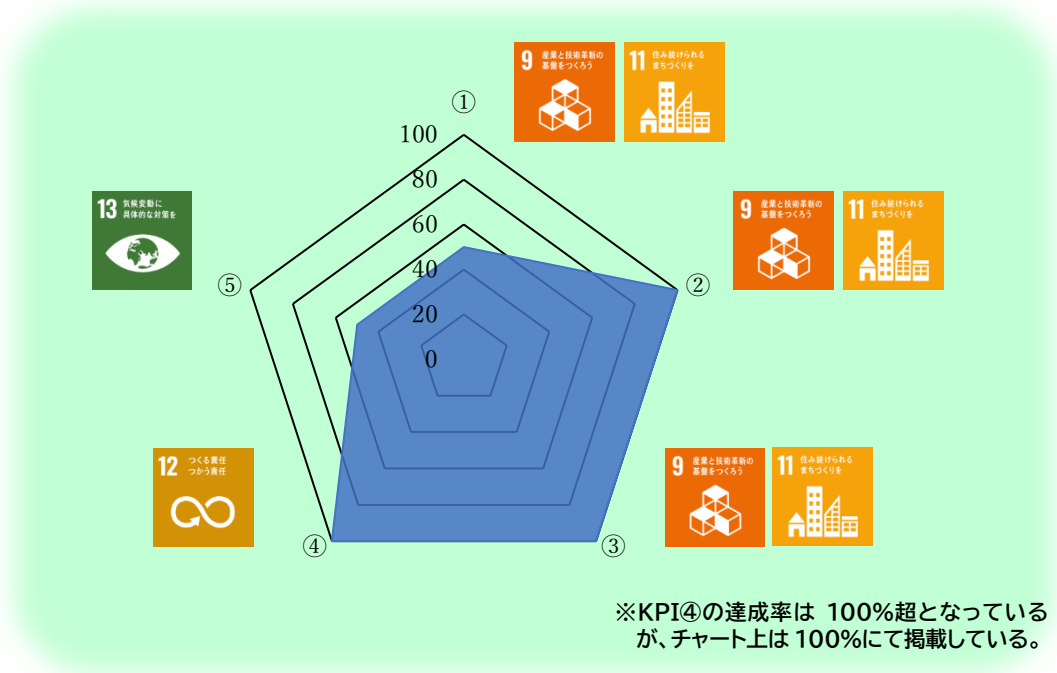
1. モニタリング対象

会社名	常滑重機株式会社
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年3月28日
融資・モニタリング期間	10年

2. KPI一覧

	KPI
包括的で健全な経済	①学校、病院、役所、橋梁等の社会的なインフラにかかる設備の入替や工事の件数を2030年6月期までに年間200件まで増加させる (※直近の実績は年間100件程度)
	②毎月安全会議を開催し、無事故・無違反を遵守する
	③東海市との災害発生時の建設重機派遣契約、セントレア航空機事故発生時の大型クレーン派遣契約を維持する
廃棄物	④PCB廃棄物の撤去及び搬送にかかる受注売上を毎年10%以上増加させる(2023年6月期実績:売上高211百万円)
大気 気候	⑤2030年6月期までにCO ₂ 排出量の少ない燃料(BTL燃料、B100、B5軽油等)の使用ができるクレーン車を2台導入する (2023年6月期時点:1台保有)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)地域社会の発展への貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ クレーン揚重作業を通じた社会インフラの整備 ・ 安全対策の徹底 ・ 災害発生時の復旧支援 		
KPI・目標	<p>①学校、病院、役所、橋梁等の社会的なインフラにかかる設備の入替や工事の件数を2030年6月期までに年間200件まで増加させる (※直近の実績は年間100件程度)</p> <p>②毎月安全会議を開催し、無事故・無違反を遵守する</p> <p>③東海市との災害発生時の建設重機派遣契約、セントレア航空機事故発生時の大型クレーン派遣契約を維持する</p>		
2024 年度実績	<p>①工事件数 150 件 (2025 年 6 月期実績)</p> <p>②無事故・無違反を遵守</p> <p>③契約は継続済み</p>	達成率	<p>①50%</p> <p>②100%</p> <p>③100%</p>
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要取引先からの受注が毎年堅調に増加している。引き続き当社の強みである「解体作業一式、各種重要物運搬等を一括で請け負うことができる」点を生かし、受注件数を増加させていく。 ・ 無事故・無違反を達成。定例会議の実施により無事故・無違反に対する意 		

	識を高める活動に努めた。 ・ 災害・事故発生時の派遣契約は維持。有事の際には要請に対し早期復旧に向け適切に対応していく。
--	---

(2)PCB廃棄物撤去・搬送による社会的課題の解決

対応方針	・ PCB廃棄物(ポリ塩化ビフェニル(PCB)を使った製品が廃棄物となったもの。毒性を有していることから、特別管理産業廃棄物に分類される)の撤去及び搬送量の増加による、国内PCB廃棄物処理完了に向けた貢献		
KPI・目標	④PCB廃棄物の撤去及び搬送にかかる受注売上を毎年10%以上増加させる(2023年6月期実績:売上高211百万円)		
2024 年度実績	④売上高前年度対比 16%増加 (2025年6月期実績:売上高92百万円)	達成率	④160%
コメント	・ 国内ではPCB廃棄物処理完了に向けた撤去及び搬送の件数自体が減少傾向にある中で、当社受注売上は前年度比増加。処理完了に向けて積極的に貢献している。		

(3)カーボンニュートラルへの取り組み

対応方針	・ CO ₂ 排出量の少ない燃料(GTL燃料、B100、B5軽油等)の使用量増加 ・ CO ₂ 排出量の少ない車両への切替え ・ アイドリング・ストップの励行・促進		
KPI・目標	⑤2030年6月期までにCO ₂ 排出量の少ない燃料(BTL燃料、B100、B5軽油等)の使用ができるクレーン車を2台導入する。 (2023年6月期時点:1台保有)		
2024 年度実績	⑤1台導入 (2025年6月期実績)	達成率	⑤50%
コメント	・ ディーゼル燃料の使用ができるクレーンを導入し、脱炭素化に向けた取り組みに注力した。2025年8月には更に1台を導入しており、環境面に配慮した設備導入を着実に進めている。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

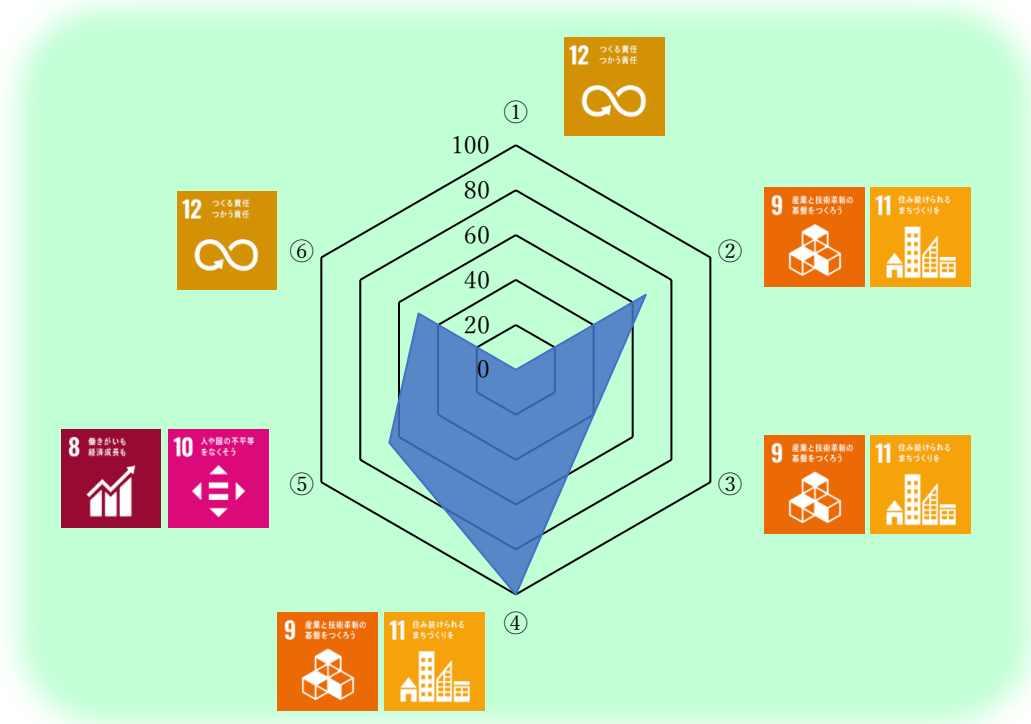
1. モニタリング対象

会社名	株式会社山三商会
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年3月29日
融資・モニタリング期間	10年

2. KPI一覧

	KPI
廃棄物	①2030年度までに、廃棄された農作物を使用した製品の売上高を100百万円とする(新工場稼働にあわせ2024年度より事業開始) ※2031年度以降の目標は改めて設定予定
文化・伝統 包括的で健全な経済	②2030年度までに売上高1,000百万円とする (2023年度実績610百万円)
	③海外売上を2027年度までに75百万円とする (2023年度実績40百万円)
	④FSSC22000(食品安全マネジメントシステム)の認証を維持する ※2031年度以降の目標は改めて設定予定
雇用	⑤外国人雇用を現在24名のところを2030年度までに35名とする ※2031年度以降の目標は改めて設定予定
廃棄物	⑥2030年度までに品質不良品をゼロとする(2023年度実績10百万個あたり20個弱) ※2031年度以降の目標は改めて設定予定

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)環境問題の解決に繋がる製品の拡大

対応方針	・ 廃棄されている農作物を使用した製品の拡充により、フードロスの削減に努める		
KPI・目標	①2030年度までに、廃棄された農作物を使用した製品の売上高を100百万円とする(新工場稼働にあわせ2024年度より事業開始) ※2031年度以降の目標は改めて設定予定		
2024 年度実績	①売上実績なし	達成率	①0%
コメント	・ 近年の異常気候変動による暑さを要因に、加工用の地元農作物(人参、玉ねぎ等を混入した煎餅商品へ加工)の計画的な確保が困難な状況となり未達成となったが、地元農産物を有効活用した取引先向け商材として引き続き商品化に向け検討を続けていく。		

(2) 伝統製法による製造の継承

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の伝統製法である「せんべい押し焼き製法」による製造を拡大する ・国際規格に則った確実な食品安全管理を実施し、引き続き安全・安心な製品を安定してお客さまへ提供できる体制を維持する 		
KPI・目標	②2030年度までに売上高1,000百万円とする (2023年度実績610百万円) ③海外売上を2027年度までに75百万円とする (2023年度実績40百万円) ④FSSC22000(食品安全マネジメントシステム)の認証を維持する ※2031年度以降の目標は改めて設定予定		
2024年度実績	②2024年度実績:668百万円 ③2024年度実績:30百万円 ④2024年度実績:毎時認証に適合中	達成率	②66.8% ③40% ④100%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・生産の効率化と販路拡大により前年度比増収となった。 ・原発事故やコロナ禍以降海外出店取引先の需要の鈍化傾向にあり、前年度比減収となったが、取引先企業の海外向け OEM 製品受注に注力し、売上増加につなげていく。 ・毎年の定期監査に適合、引き続き安全な食の提供に努めていく。 		

(3) 国籍にとらわれない多様な人材の雇用促進

対応方針	・国籍にとらわれない多様な人材の雇用を推進する		
KPI・目標	⑤外国人雇用を現在24名のところを2030年度までに35名とする ※2031年度以降の目標は改めて設定予定		
2024年度実績	⑤23人/48人(全従業員)	達成率	⑤65%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム、インド、スリランカ、ネパール、フィリピン、インドネシアの従業員を雇用、国籍にとらわれない多様な人材の雇用を進めている。幹部候補生も現在育成中である。 		

(4)環境に配慮した取り組み

対応方針	・ 廃棄される品質不良品をなくす		
KPI・目標	◎2030年度までに品質不良品をゼロとする (2023年度実績:10百万個あたり20個弱) ※2031年度以降の目標は改めて設定予定		
2024 年度実績	◎10百万個あたり10個弱	達成率	◎50% (2023年度実績 20個を基準)
コメント	・ 前年度比 50%の削減となった。最終販売商品の不良品ゼロを目指し、 検品の強化および生産過程段階で避けられない廃棄商品のフードロスの 改善活動も取組んでいる。具体的には運搬中の落下商品を減少させる対 策を行っている。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

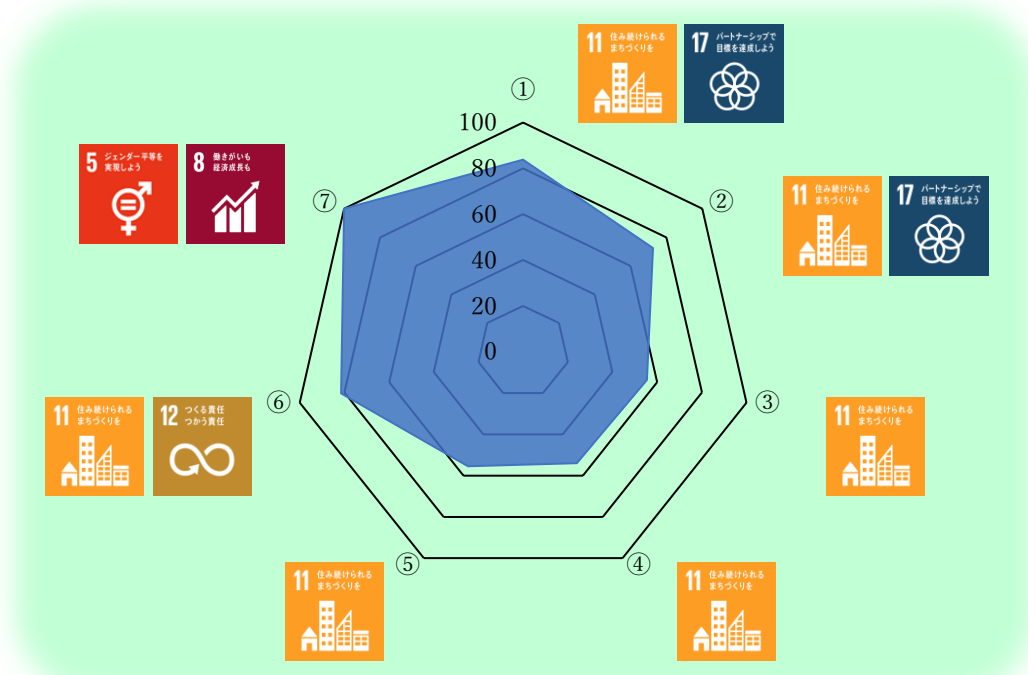
1. モニタリング対象

会社名	株式会社And Doホールディングス
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年6月28日
融資・モニタリング期間	3年

2. KPI一覧

	KPI
社会 経済	①2025年6月期にFCの店舗を865店舗とする (2025年7月以降の目標はあらかじめ設定) (2024年3月時点705店舗)
	②不動産情報のオープン化を推進し「不動産コンビニ」構想の実現に向けて、 国内1,000店舗を目指す
経済	③ハウス・リースバック事業を通じて、高齢者等が自宅を売却して資金を得た 後も、愛着のある住居や地域で住み続けることを可能とする
	④65歳以上の単身者向けのサービスである「みまもりDO」や「安心コール サービス」の提供により、高齢者の方が安心して住み続けられる環境を提供 する
	⑤リバースモーゲージの保証提携先を増やすことで、幅広い地域のお客様が 利用できる体制を整備し、不動産市場の流通活性化と、高齢者等の消費・投 資意欲の向上に繋げる
環境	⑥リフォーム事業の売上を2025年6月期に27億円とする (2025年7月以降の目標はあらかじめ設定) (2023年6月期25.2億円)
	⑦管理職に占める女性の割合を2025年6月末までに20%以上とする (2025年7月以降の目標は改めて設定) (2023年6月末12.0%)

3. 達成状況チャート(全体)



※KPI⑦の達成率は 100%超となっているが、チャート上は 100%にて掲載している。

4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)不動産を通じて、人々に安心感を醸成し、利便性を向上させる

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・フランチャイズにより「ハウズドゥ」ブランドの全国展開を進める ・当社の保有するノウハウ(集客戦略、IT戦略、教育研修、モチベーションアップ戦略等)の提供を通じ、不動産業への新規参入を促進する ・不動産情報のオープン化により、地方圏での不動産流通市場の活性化を図る 		
KPI・目標	①2025年6月期にFCの店舗を865店舗とする(2025年7月以降の目標はあらためて設定)(2024年3月時点705店舗) ②不動産情報のオープン化を推進し「不動産コンビニ」構想の実現に向けて、国内1,000店舗を目指す		
2024年度実績	①725店舗 ②725店舗	達成率	①83.8% ②72.5%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において退会店舗が増加したが近時回復、累計店舗数は増加。今後は異業種でもFCへの参入可能な仕組みの構築を図っていく。 ・店舗数増加によりエリア内での認知度が向上。不動産業者を中心として特に大阪府周辺で大きく増加した。 		

(2) 高齢者が保有する不動産の有効活用および Quality of Life の向上

<p>対応方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハウス・リースバック事業を通じて、高齢者等が自宅を売却して資金を得た後も、愛着のある住居や地域で住み続けることを可能とする。 ・ 65 歳以上の単身者向けのサービスである「みまもりDO」や「安心コールサービス」の提供により、高齢者の方が安心して住み続けられる環境を提供する ・ リバースモーゲージの保証提携先を増やすことで、幅広い地域のお客様が利用できる体制を整備し、不動産市場の流通活性化と、高齢者等の消費・投資意欲の向上に繋げる。 ・ リバースモーゲージの展開により、高齢者等が老後資金を確保し、住宅ローンを含めた多重債務の借換えや相続問題の解決(代償金支払い)等で、高齢者を精神的な負担から解放し、「生活の質」の向上に繋げる 		
<p>KPI・目標</p>	<p>③ハウス・リースバック物件の年間仕入契約件数を 2025 年 6 月期 1,440 件(月 120 件)とするほか、中期的に月間 150 件ペースを目指す(2025 年 7 月以降の目標はあらためて設定) (2023 年 6 月期 1,238 件)</p> <p>④リバースモーゲージ保証の保証提携先数を 2025 年 6 月末に 100 金融機関とする(2025 年 7 月以降の目標はあらためて設定) (2024 年 5 月 13 日現在 51 金融機関)</p> <p>⑤リバースモーゲージの保証残高を 2025 年 6 月末に 506 億円とする (2025 年 7 月以降の目標はあらためて設定) (2024 年 3 月末残高 181 億円)</p>		
<p>2024 年度実績</p>	<p>③798 件 ④54 金融機関 ⑤281 億円</p>	<p>達成率</p>	<p>③55.4% ④54.0% ⑤55.5%</p>
<p>コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2四半期以降仕入契約減速が影響し、新規取組件数は前期を下回った。 ・ 東北から九州まで幅広く営業活動を展開、提携金融機関実績は前年度比 2 先増加した。 ・ 首都圏を中心とした新規保証のニーズが高く、順調に増加した。 		

(3)環境に関する教育の促進

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム事業を通じて、新たに住宅を建築するのではなく、既存のストックを活用することで環境負荷を軽減する。 ・「女性活躍推進法」に基づき、今後も継続して、女性の個性と能力が発揮され、家庭生活や仕事が両立できるよう環境整備を行い、また、女性自身の意思が尊重されるよう豊かで活力のある会社の実現を目指して女性の活躍を推進する。 		
KPI・目標	⑥リフォーム事業の売上を 2025 年 6 月期に 27 億円とする(2025 年 7 月以降の目標はあらためて設定) (2023 年 6 月期 25.2 億円) ⑦管理職に占める女性の割合を 2025 年 6 月末までに 20%以上とする(2025 年 7 月以降の目標は改めて設定) (2023 年 6 月末 12.0%)		
2024 年度実績	⑥22.0 億円 ⑦24.5%	達成率	⑥81.5% ⑦122.5%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・成長強化学業へ人員シフトにより売上高は減少した。 なお、2026 年 6 月期中での事業譲渡を予定している。 ・目標を上回る実績となった。ロールモデルとなる女性の働き方や発信やキャリアに関する情報共有・相談窓口の周知、社内インフラネットQ&A設置等、性別によらず活躍できる社内環境の整備を引き続き努めていく。 		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

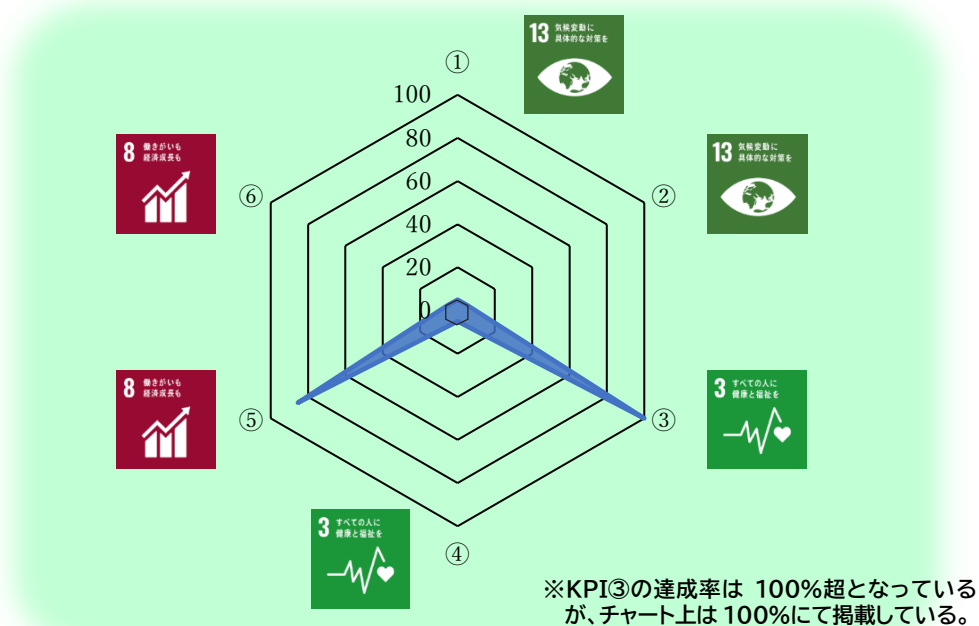
1. モニタリング対象

会社名	株式会社レクスト
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年11月29日
融資・モニタリング期間	7年

2. KPI一覧

	KPI
気候	①電気使用量を毎期前年比3%削減する (2024年6月期 10,351,892KWh)
	②今後、新規出店する葬儀会館に太陽光発電設備を設置する(今後3年間で約3店舗の出店を計画中)
健康・衛生	③葬儀会館を毎年度1店舗以上出店する(現在直営61店舗)
	④葬儀対応件数を毎年度5%増加させる(2024/6期 8,863件)
雇用	⑤2030年6月期までに有給休暇取得率を前年比増加させ、70%以上とする(2024年6月期実績 61.0%)
	⑥2026年6月期までに「健康経営優良法人」を取得し、以降認定を継続する

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)環境に配慮した取り組みの促進

対応方針	・夜間での電気消費量も多いことから、葬儀会館の照明を順次LED化することで、CO ₂ 排出量を削減する。		
KPI・目標	①電気使用量を毎期前年比3%削減する (2024/6期 10,351,892KWh) ②今後、新規出店する葬儀会館に太陽光発電設備を設置する (今後3年間で約3店舗の出店を計画中)		
2024 年度実績	①2025/6 期:10,585,067KWh ②現在、検討中	達成率	①0% ②0%
コメント	・電気使用量は、新規出店2店舗した影響を受け増加となった。 ・太陽光発電設備は、現在検討を進めている段階。		

(2)サービス提供エリアの拡大

対応方針	・サービス提供エリアを拡大し、きめ細かな葬儀サービスの提供を愛知県内全域に広げる。		
KPI・目標	③葬儀会館を毎年度1店舗以上出店する(現在直営61店舗) ④葬儀対応件数を毎年度5%増加させる(2024/6期 8,863件)		
2024 年度実績	③今期2店舗出店(現在直営 63 店舗) ④2025/6 期 8,643 件	達成率	③200% ④0%

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も毎年1店舗以上出店し、サービスエリアを拡大していく予定。 ・葬儀件数においては、提携先との提携を一部見直したことにより小葬の件数が減少した為、新たな企業との提携等を進めている。
------	---

(3)従業員が働きやすい職場環境の整備

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・育休などの休暇を取得しやすい風土づくり、トイレ等の設備更新など働きやすい職場環境を整備する。 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ⑤2030年6月期までに有給休暇取得率を前年比増加させ、70%以上とする(2024/6期実績 61.0%) ⑥2026年6月期までに「健康経営優良法人」を取得し、以降認定を継続する 		
2024 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ⑤2025/6 期 実績 59.8% ⑥現在、取得に向け調整中 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ⑤85.4% ⑥0%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して休めるような勤務形態、業務体制作りに注力している。 ・「健康経営優良法人」の認定必須項目について社内整備中。 		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

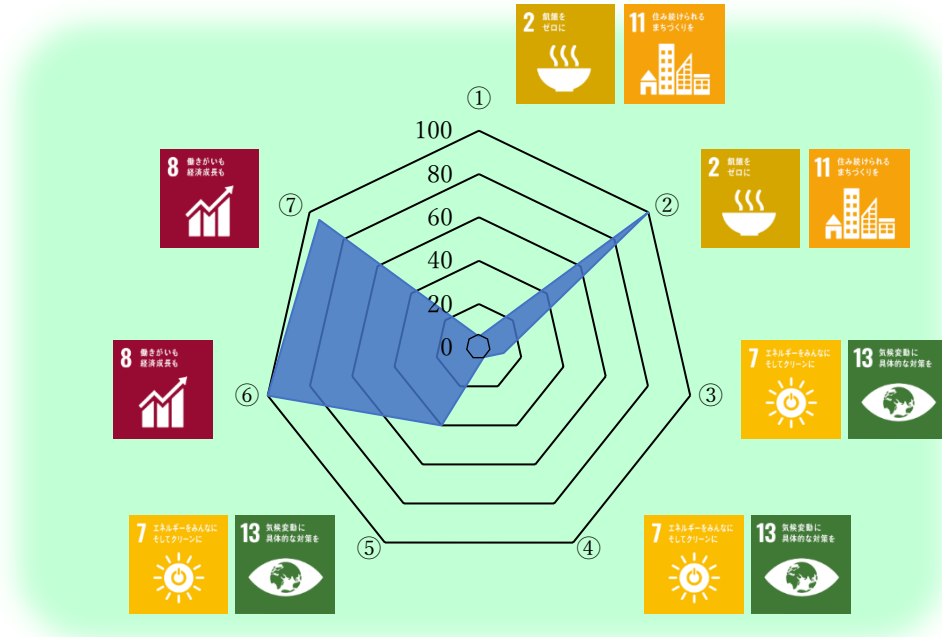
1. モニタリング対象

会社名	フジサービス株式会社
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2024年12月27日
融資・モニタリング期間	5年

2. KPI一覧

	KPI
食料、住居 エネルギー 包括的で健全な経済	①当社売上の過半を占める電気工事業、およびベーカリー事業・観光農園事業のそれぞれにおいて、2025年度以降毎年度、前期比売上増加率10%を達成
	②電気工事における施工不具合を毎年度減少させ、2029年度までに年間0件を実現
エネルギー 気候	③EPC事業者として設計、調達、建設を一手に担うことによる受注確保および発電事業の強化による再生可能エネルギーの普及
	④BCP対策や電力の効率利用を検討している企業への営業推進
	⑤太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用による自社のCO ₂ 排出削減
雇用	⑥男女問わず、2029年度までに育休取得率100%を達成 (直近3年度:50%)
	⑦従業員の平均有給休暇取得日数を2027年度までに年間7日以上、2029年度までに年間10日以上に引き上げる (2022年度:3.31日、2023年度:3.09日、2024年度:5.31日)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1) 各事業の成長による地域経済への貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 注力事業の売上増加施策の着実な実行 電気工事業：太陽光発電の需要増加に対するEPC業務の推進 ベーカリー事業：メニューの見直し、新規出店 観光農園事業：イチゴ農園、農園レストラン開業 電気工事業に従事する作業員への適切な教育と最適な工期設定 		
KPI・目標	①当社売上の過半を占める電気工事業、およびベーカリー事業・観光農園事業のそれぞれにおいて、2025年度以降毎年度、前期比売上増加率10%を達成 ②電気工事における施工不具合を毎年度減少させ、2029年度までに年間0件を実現		
2025年度実績	①▲15.72% ②0件	達成率	①0% ②100%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 電気工事業売上高 2,532 百万円(前期比▲579M)、ベーカリー・観光農園事業売上高 297 百万円(前期比+51M)。主力の電気事業部門にて大口工事受注が減少した影響を受け、全体の売上高は減収となった。採算面を意識した大型工事受注を確保することで、売上高前期比増加率10%達成を目指していく。 電気工事における施工不具合 0 件。引き続き、0 件を維持していく。 		

(2)CO₂排出削減への取り組み推進

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ EPC事業者として設計、調達、建設を一手に担うことによる受注確保および発電事業の強化による再生可能エネルギーの普及 ・ BCP対策や電力の効率利用を検討している企業への営業推進 ・ 太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用による自社のCO₂排出削減 		
KPI・目標	<p>③2029年度までに、太陽光発電設備(産業用・屋根付き・PPA・自社保有用)設置容量の合計120MW 達成 (2022年度:10MW、2023年度:10MW、2024年度:19MW) 発電量ベースでは、144,000MWh/年を達成 (2022年度:12,000MWh、2023年度:12,000MWh、2024年度:22,800MWh)</p> <p>④2025年度以降、全国の顧客を対象に系統蓄電所(電力系統に直接接続される大規模蓄電システム)を5件/年導入 (新規事業)</p> <p>⑤2029年度までに自社使用電力の再エネ率100%を達成 (2024年度:25%)</p>		
2025 年度実績	③14MW ④0 件 ⑤40%	達成率	③11.7% ④0% ⑤40%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電の設置を推進し、設置容量 120MW を達成していく。 (2025 年度:14,800MWh) ・ 2025 年度は系統蓄電所の導入を行うことができなかった為、営業活動を強化し、目標達成に向け注力していく。 ・ 2025 年度の自社使用電力の再エネ率は 40%まで高めることに成功。今後再エネ率使用率を高め、2029 年度までに 100%達成を目指す。 		

(3)ワークライフバランスの推進

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の効率化及び分担の見直し、スケジュールの調整 		
KPI・目標	<p>⑥男女問わず、2029年度までに育休取得率100%を達成 (直近3年度:50%)</p> <p>⑦従業員の平均有給休暇取得日数を2027年度までに年間7日以上、2029年度までに年間10日以上に引き上げる (2022年度:3.31日、2023年度:3.09日、2024年度:5.31日)</p>		
2025 年度実績	⑥100% ⑦6.6 日	達成率	⑥100% ⑦94.3%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育休取得率 100%達成。引き続き取得率 100%維持できるよう、取組 		

	<p>みを行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2025 年度有給休暇取得日数は 6.6 日。2027 年度までに年間 7 日以上取得を目指す。
--	--

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

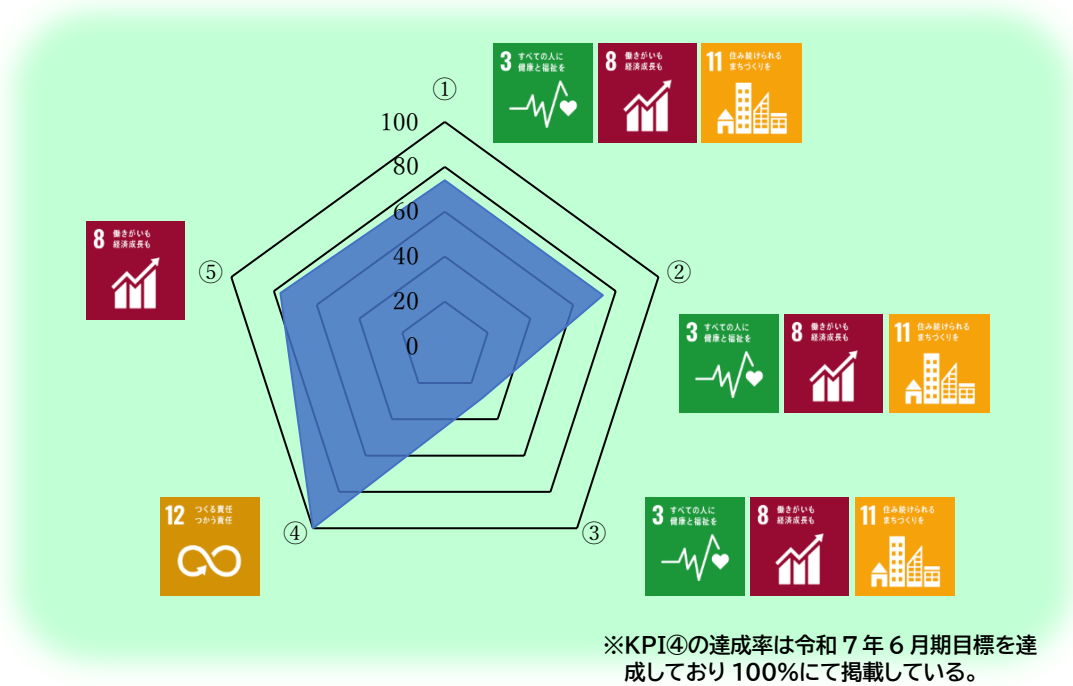
1. モニタリング対象

会社名	株式会社スタッフシュウエイ
モニタリング基準日	2025年6月30日
当初評価日	2025年2月28日
融資・モニタリング期間	5年

2. KPI一覧

	KPI
住居 健康・衛生 雇用 人格と人の安全保障 包括的で健全な経済	①令和11年6月期までに売上高250億円を達成する (令和6年6月期:129.9億円、令和5年6月期:77.9億円、 令和4年6月期:47.1億円)
	②令和11年6月期までに介護事業における売上高220億円を達成する (令和6年6月期:106.2億円、令和5年6月期:57.8億円、 令和4年6月期:32.1億円)
	③令和11年6月期までにナーシングホームを新たに60施設開設する (令和6年6月期時点の総施設数:38施設)
廃棄物	④令和7年6月期中にナーシングホーム部門における1施設あたりのシーツ(リネン)使用量を可視化・把握し、令和9年6月期までに使用量を5%削減する ※以降の目標は改めて設定する
雇用	⑤令和11年6月期までに介護士資格者を350名新規採用する (令和7年2月時点:1,451名)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)介護事業の強化による高齢化社会に対する貢献および人材派遣業を通じた取引先企業の成長支援

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 適切な新規施設開所による地域ニーズへの対応 良質なサービスの提供による入居者の確保 人材派遣業におけるスタッフ・派遣先企業へのきめ細かい対話・フォローの実施 		
KPI・目標	<p>①令和11年6月期までに売上高250億円を達成する (令和6年6月期:129.9億円、令和5年6月期:77.9億円、令和4年6月期:47.1億円)</p> <p>②令和11年6月期までに介護事業における売上高220億円を達成する (令和6年6月期:106.2億円、令和5年6月期:57.8億円、令和4年6月期:32.1億円)</p> <p>③令和11年6月期までにナーシングホームを新たに60施設開設する (令和6年6月期時点の総施設数:38施設)</p>		
2024年度実績	<p>①186.9億円</p> <p>②164.2億円</p> <p>③17施設開所し現在55施設</p>	達成率	<p>①74.8%</p> <p>②74.6%</p> <p>③28.3%</p>

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな施設開所の効果を受け併い介護事業を含めた売上高は増加した。 ・ ナーシングホームの開設についても堅調に推移している。
------	--

(2)適切な資源利用による環境への配慮

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設毎管理としていたリネン品を本部管理とすることによる適切な在庫管理 ・ 洗濯等の丁寧なメンテナンスの継続によるリネンの品質保持と有効活用 		
KPI・目標	④令和7年6月期中にナーシングホーム部門における1施設あたりのシーツ(リネン)使用量を可視化・把握し、令和9年6月期までに使用量を5%削減する ※以降の目標は改めて設定する		
2024 年度実績	④介護施設毎のリネン数を可視化 (2025年6月期: 43百万円) (金額ベース)	達成率	④100%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初計画通り令和7年6月期中にナーシングホーム部門における1施設あたりのシーツ(リネン)使用量を金額ベースで可視化することができた。 ・ 今後、対応方針に基づき令和9年6月期までに使用料の5%削減を目指していく。 		

(3)働きやすい職場環境構築による専門人材確保・活躍支援

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設開設地域への採用活動の積極展開 ・ 福利厚生制度の充実や柔軟な勤務形態の検討等、働きやすい環境の整備 		
KPI・目標	⑤令和11年6月期までに介護士資格者を350名新規採用する (令和7年2月時点:1,451名)		
2024 年度実績	⑤270名	達成率	⑤77.1%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設開所に伴って介護資格者を大幅に採用、順調に推移した。今後も採用活動について力を入れていく。 		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

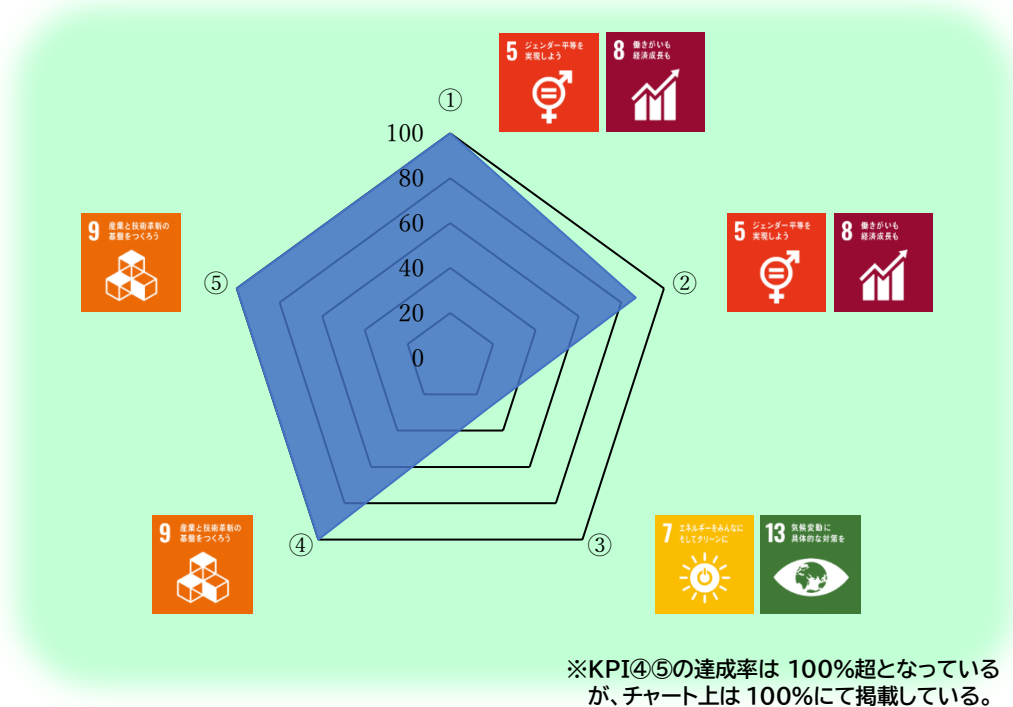
1. モニタリング対象

会社名	ワイクリード株式会社
モニタリング基準日	2025年7月31日
当初評価日	2023年9月29日
融資・モニタリング期間	7年

2. KPI一覧

	KPI
雇用	①健康経営優良法人の継続認定取得 ②2030年7月期までに女性従業員比率を50%以上にする(2023年7月期:43%)
気候	③2030年7月期のCO ₂ 排出量を2019年7月期対比にて50%以内とする
移動手段、包括的で健全な経済	④每期、売上高を前期比5%以上増加させる ⑤工程内不良率を0.5%未満にする。

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1) 平等な職場環境づくりと従業員の健康増進

対応方針	・ 従業員の健康増進と女性従業員の活躍促進		
KPI・目標	①健康経営優良法人の継続認定取得 ②2030年7月期までに女性従業員比率を50%以上にする (2023年7月期:43%)		
2024年度実績	①継続認定を取得 ②43.4%	達成率	①100% ②86.8%
コメント	・ 継続認定の為に必須項目は確実にクリアできており、「健康経営優良法人 2026」の認定申請も完了した。 ・ 2025年4月の新卒採用者が男性1名のみとなったこともあり前期比でやや比率が減少した。2026年4月には男性1名、女性2名の入社を予定しており、今年度は女性比率の増加が見込まれる。引き続き女性の積極採用を展開していく。		

(2)カーボンニュートラルへの取り組み

対応方針	・ 使用電力削減により CO ₂ 排出量の抑制		
KPI・目標	③2030年7月期のCO ₂ 排出量を2019年7月期対比にて50%以内とする		
2024年度実績	③CO ₂ 排出量2019年7月期対比86%	達成率	③28%
コメント	・ 受注量の増加に伴い排出量は増加した。エアーコンプレッサーの適正稼働の取組みにより原単位の削減を進めていく。		

(3)製品供給を通じた経済への貢献

対応方針	・ 当社製品の供給量拡大と不良製品の発生減少		
KPI・目標	④毎期、売上高を前期比5%以上増加させる ⑤工程内不良率を0.5%未満にする		
2024年度実績	④前期比5.7%増加 ⑤工程内不良率は0.15%	達成率	④105.7% ⑤333%
コメント	・ コロナ禍から続いていた受注減少が解消されつつあり売上は増加した。一方でトランプ関税の影響により先行きに不透明な部分もみられる。 ・ 「工程内不良低減委員会」を毎月実施。各工程における不良の発生状況の検証を行い、早期に改善に取り組むことで不良製品の発生抑制が出来ている。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

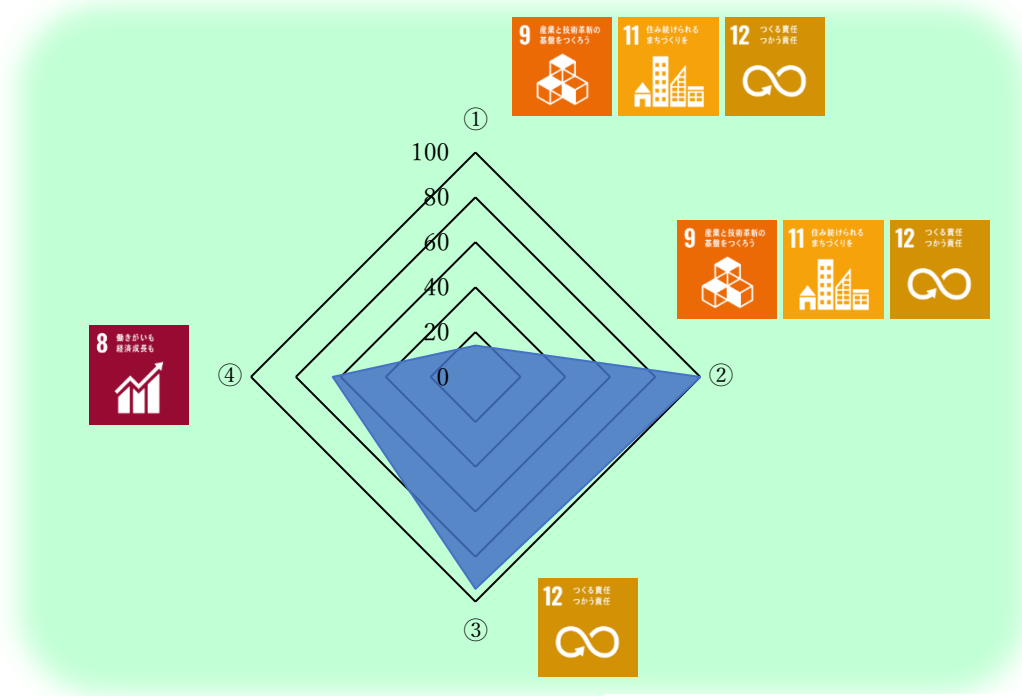
1. モニタリング対象

会社名	株式会社ホウセイ開発
モニタリング基準日	2025年7月31日
当初評価日	2024年9月30日
融資・モニタリング期間	7年

2. KPI一覧

	KPI
住居 包括的で健全な経済 資源効率・安全性 廃棄物	①2031年7月期までに売上高を2023年度比100百万円増加させる (2023年7月期実績:214百万円)
	②2031年7月期までに産業廃棄物処理部門の売上高を2023年度比50百万円増加させる (2023年7月期実績:20百万円)
水(品質) 土壌 資源効率・安全性 廃棄物	③2031年7月期までに産業廃棄物のリサイクル率を85%とする (2023年7月期実績:79.4%)
雇用	④2027年12月までに従業員の平均有給休暇取得日数を11日にする (2023年12月実績:7日) ※2028年以降の目標は改めて設定する

3. 達成状況チャート(全体)



※KPI②の達成率は 100%超となっているが、チャート上は 100%にて掲載している。

4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)事業拡大による生活環境の整備、循環型社会実現に向けた貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 新規取引先の増加、既存取引先との取引拡大 造成～解体～最終処理までの「ワンストップ化」の強みを生かした循環型社会実現のための廃棄物処理事業の積極展開 		
KPI・目標	①2031年7月期までに売上高を2023年度比100百万円増加させる (2023年7月期実績:214百万円) ②2031年7月期までに産業廃棄物処理部門の売上高を2023年度比50百万円増加させる (2023年7月期実績:20百万円)		
2024年度実績	①228百万円(14百万円増加) ②106百万円(86百万円増加)	達成率	①14% ②172%
コメント	・ 全社員一体となった営業努力が実り、産廃部門は売上全体の50%近い売上高にまで伸長した。産業廃棄物処理部門においては大手取引先からの受注増加も見込まれ、年商目標の達成も目指していく。		

(2)適切なリサイクルを通じた環境面への負荷軽減

対応方針	・ 自社排出および回収した廃棄物の適切な処理を徹底し、リサイクル効率を高めることで環境負荷を軽減する。		
KPI・目標	③2031年7月期までに産業廃棄物のリサイクル率を85%とする。 (2023年7月期実績:79.4%)		
2024年度実績	③80.2%	達成率	③94.3%
コメント	・ 環境負荷軽減に向け、社内でも目標意識を伝達。 2031年時には目標以上の達成率となるよう、引き続き社内意識の統一を図る。		

(3)心身ともに健康に働ける職場づくり

対応方針	・ 従業員のワークライフバランス環境の向上		
KPI・目標	④2027年12月までに従業員の平均有給休暇取得日数を11日にする。 (2023年12月実績:7日) ※2028年以降の目標は改めて設定する。		
2024年度実績	④7日	達成率	④63.6%
コメント	・ 新規事業着手もあり、業務が多忙化した。 ・ 朝礼等で意識づけするよう伝達してはいるが、足元では目標とする日数の取得には至らなかった。 ・ 業務効率化を図り、各々の業務負担を軽減する策を練ることで目標達成を目指す。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

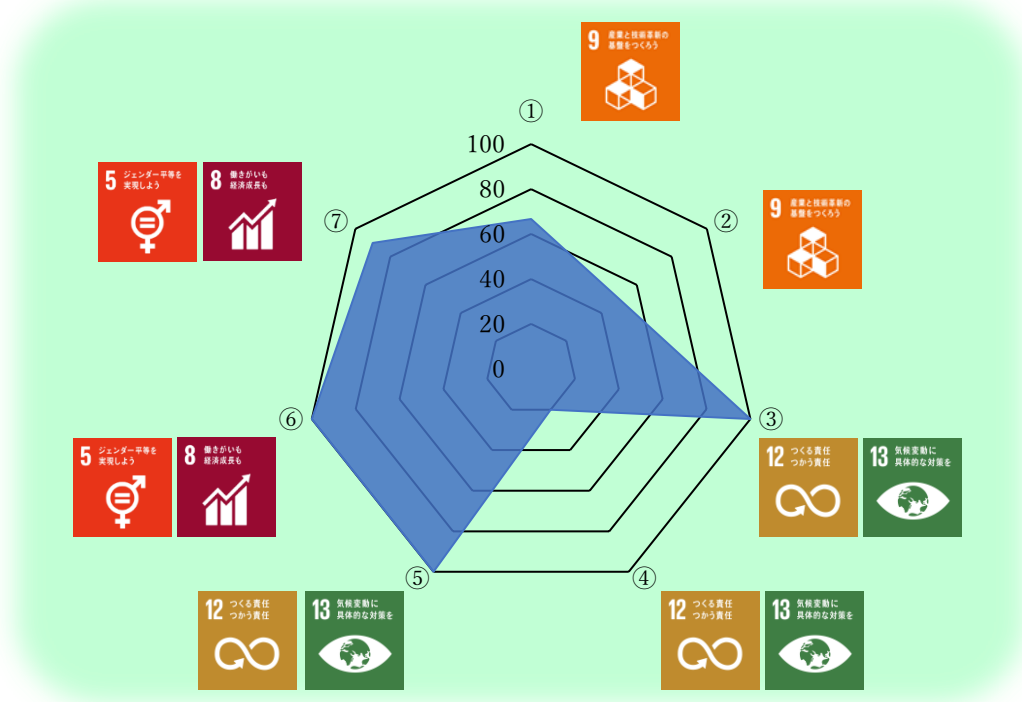
1. モニタリング対象

会社名	加藤精工株式会社
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2023年10月31日
融資・モニタリング期間	10年

2. KPI一覧

	KPI
移動手段 包括的で健全な経済	①2030年度までに新規顧客3件獲得
	②ISO9001の継続認定と、2030年度までに品質不具合年間0件を実現
気候 廃棄物	③ISO14001の継続認定
	④循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を2030年度に50%削減(2021年度比)
	⑤CO2排出量を2030年度に50%削減(2013年度比)
雇用	⑥男女問わず、2030年度までに育休取得率100%
	⑦2030年度までにタブレット導入率100% (豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1) 持続的成長のための基盤構築

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> お客様に喜ばれる商品を創造するとともに、豊かな社会に貢献する 品質管理の継続維持 		
KPI・目標	①2030 年度までに新規顧客3件獲得 ②ISO9001 の継続認定と、2030 年度までに品質不具合年間 0 件を 実現		
2024 年度実績	①1件(累計 2 件) ②ISO9001 継続認定。品質不具合年間 0 件は未達成	達成率	①66.7% ②50%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 期中に 1 先新規顧客を開拓。引き続き来期以降も当社技術力を提供できる顧客開拓に努めていく。 ISO9001 は認定を維持。品質不具合 0 件の達成は現状難しいが 2030 年度までにゼロを目指して品質管理していく方針である。 		

(2)環境に配慮した取り組みの推進

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の低減 ・製造過程の見直し及び再エネ・省エネ設備導入によるCO₂排出量の削減 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ③ISO14001の継続認定 ④循環型社会を目指し、事業活動からの廃棄物量を2030年度に50%削減(2021年度比) ⑤CO₂排出量を2030年度に50%削減(2013年度比) 		
2024年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ③継続認定済み ④2021年度比10%削減 ⑤2013年度比50%削減 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ③100% ④20% ⑤100%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001については認定を維持している。 ・廃棄物量削減は前年同程度となった。生産拠点が増え新拠点での廃棄物量の削減が課題である。 ・カーボンニュートラルについては積極的な取り組みを実施したことも功を奏し、50%削減目標を達成することができた。 		

(3)働きやすい労働環境づくり

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人が働きやすい労働環境づくり ・DXの推進による業務効率化 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ⑥男女問わず、2030年度までに育休取得率100% ⑦2030年度までにタブレット導入率100% (豊田工場からスモールスタートし、作業日報のペーパーレス化、作業要領書のデジタル化を目指す) 		
2024年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ⑥100% ⑦90% 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ⑥100% ⑦90%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な育休取得を呼びかけており、昨年に引き続き男女問わず取得率100%を達成した。 ・豊田工場のみならず、本社工場でも一部拠点を除いて約9割でタブレット端末の導入を実施。DX化による業務の効率化を図っていく。 		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

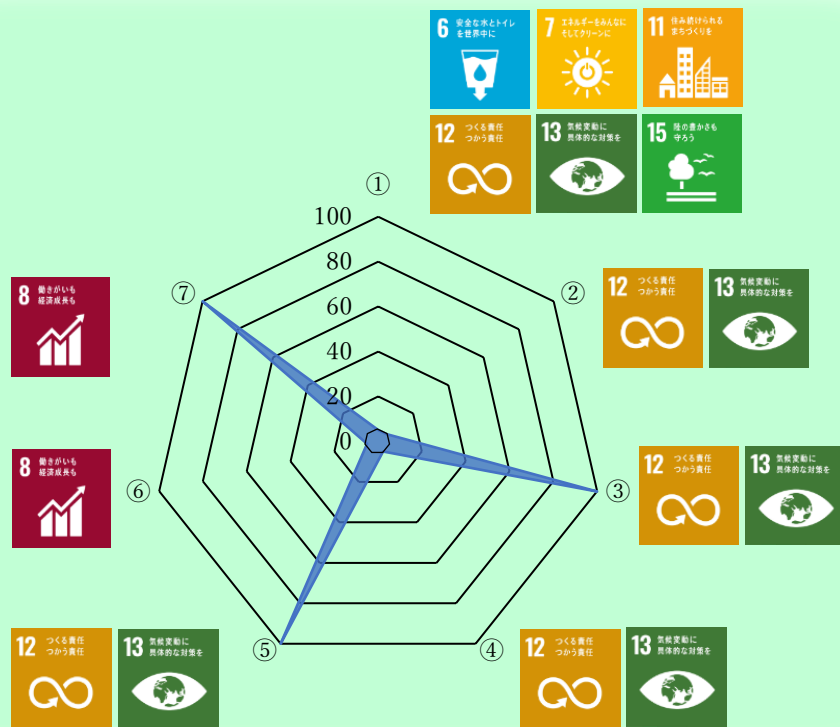
1. モニタリング対象

会社名	株式会社M. O. C
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2024年3月25日
融資・モニタリング期間	7年

2. KPI一覧

	KPI
水(質) 資源効率・安全性 気候 廃棄物 エネルギー	①廃油の再資源化量の増加 (2022年度2,600tの実績を2030年度までに5,500tとする)
気候 廃棄物	②CO2 排出量の削減 (2030年度までに2020年度比50%削減) (※2022年度実績:740,000kg-CO2)
	③エコアクション21の認証継続
	④コピー用紙消費量の削減 (2030年度までに2022年度比50%削減) (※2022年度実績:74,500枚)
雇用	⑤グリーン購入の推進 (2022年度実績の50種類を2030年度までに100種類へ増加)
	⑥廃油ビジネスの多様性をテーマとした講義等を中心に社員研修の充実 (現在5種類ある研修項目を2030年度までに13種類とする)
	⑦有給休暇取得率の向上 (2022年度実績の10%を2030年度までに50%とする)

3. 達成状況チャート(全体)



※KPI⑤の達成率は 100%超となっているが、チャート上は 100%にて掲載している。

4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)循環型社会の形成

対応方針	・回収した廃油を再生重油に精製し再利用することで循環型社会を形成する		
KPI・目標	①廃油の再資源化量の増加 (2022年度2,600tの実績を2030年度までに5,500tとする)		
2024年度実績	①廃油の再資源化量 2,353t	達成率	①0%
コメント	・環境意識の高まりにより潤滑油の使用量が相対的に減少。 ・ハイブリッド車の普及によりエンジンオイルの交換頻度が減っていることもあり、廃油の発生が減少、それに伴い再資源化量も減少した。		

(2)環境に配慮した取り組みの促進

対応方針	・カーボンニュートラルへの取り組み ・環境負荷の低減
KPI・目標	②CO2 排出量の削減(2030年度までに2020年度比50%削減 ※2022年度実績:740,000kg-CO2)

	③エコアクション21の認証継続 ④コピー用紙消費量の削減(2030年度までに2022年度比50%削減 ※2022年度実績:74,500枚) ⑤グリーン購入の推進 (2022年度実績の50種類を2030年度までに100種類へ増加)		
2024 年度実績	②CO2 排出量 751,326kg-CO2 ③認証継続 ④コピー用紙消費量 93,000 枚 ⑤グリーン購入 115 種類	達成率	②0% ③100% ④0% ⑤115%
コメント	・車両台数増加に伴い CO2 排出量は拡大したが、1 台あたりの排出量は削減された。 ・エコアクション 21 は継続して認定されている。 ・コピー用紙消費量はミーティングの増加等に伴う資料・マニュアルの打ち出し増加により増加した。今後DX化を検討していくが、まずは社内制度・体制確保を優先的に行っていく方針。 ・グリーン購入の推進を行い、前倒しで100 種類を達成。115種類に到達した。		

(3)働きやすい職場環境の整備

対応方針	・質の高い従業員教育の提供 ・働き方改革による健康経営の推進		
KPI・目標	⑥廃油ビジネスの多様性をテーマとした講義等を中心に社員研修の充実(現在5種類ある研修項目を2030年度までに13種類とする) ⑦有給休暇取得率の向上 (2022年度実績の10%を2030年度までに50%とする)		
2024 年度実績	⑥社員研修 3 種類 ⑦平均有給取得率は 50%	達成率	⑥0% ⑦100%
コメント	・組織の作り方・会社のあり方について方針転換を行い、研修を統一化したことにより研修項目の種類は縮小した。 ・若手従業員を中心に有給休暇の取得が増加、目標を達成することができた。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

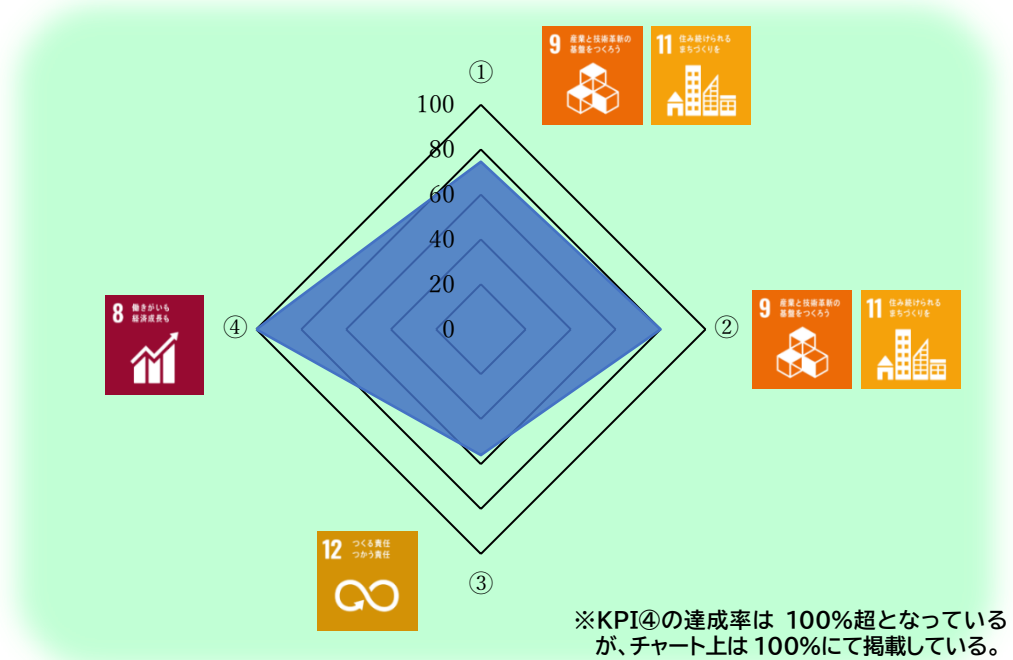
1. モニタリング対象

会社名	株式会社光電工
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2024年11月29日
融資・モニタリング期間	5年

2. KPI一覧

	KPI
移動手段 包括的で健全な経済	①2029年8月期までに売上高を2024年5月期対比で5億円増加させる (2024年5月期:740百万円)
	②2029年8月期までに協力会社を10社とする (2024年5月期:5社)
廃棄物	③2029年8月期までに事務所内でのコピー用紙の使用枚数を2024年5月期比5%以上削減する (2024年5月期実績:年間36,000枚)
雇用	④2029年8月までに従業員を5名以上増加させる (2024年5月時点:18名)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)電気工事業を通じた社会インフラ維持への貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・当社事業の中心である鉄道関連、公共施設の電気工事の受注を拡大させる ・協力会社を増やし、より多くの業務に臨める体制をつくる 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ①2029年8月期までに売上高を2024年5月期対比で5億円増加させる (2024年5月期:740百万円) ②2029年8月期までに協力会社を10社とする (2024年5月期:5社) 		
2024 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①2025年8月期:1,113 百万円 (373 百万円増加) ②2025年8月期:8 社 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ①74.6% ②80%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・大型工事受注の効果を受け、売上は大幅に伸長した。 ・受注量の増加に伴い協力業者も増加した。 ※2025 年9月に全株を名古屋キャピタルへ売却。株主が変更となり、今後協力会社の増減については影響が出る可能性がある。 		

(2)環境に配慮した事業活動へ向けた意識向上

対応方針	・業容を拡大させながらも、タブレット端末導入や両面印刷の徹底等により社内のペーパーレス化を同時に推進する。		
KPI・目標	③2029年8月期までに事務所内でのコピー用紙の使用枚数を2024年5月期比5%以上削減する (2024年5月期実績:年間36,000枚)		
2024年度実績	③2025年8月期実績:年間 35,000 枚 (2.8%削減)	達成率	③56%
コメント	・社内努力で枚数削減を図っているが、業界内での書類提出等の増加や従業員への意思統一の不足も感じており、引き続き目標達成に向け取組み継続していく。		

(3)事業拡大に向けた人材の確保

対応方針	・事業を拡大し、社会により貢献するため新たな人員を積極採用する		
KPI・目標	④2029年8月までに従業員を5名以上増加させる (2024年5月時点:18名)		
2024年度実績	④2025年8月実績:27名 (9名増加)	達成率	④180%
コメント	・業容拡大に伴って従業員は当初目標以上に増加した。利益還元を従業員へ行うことで離職者の減少にも注力している。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

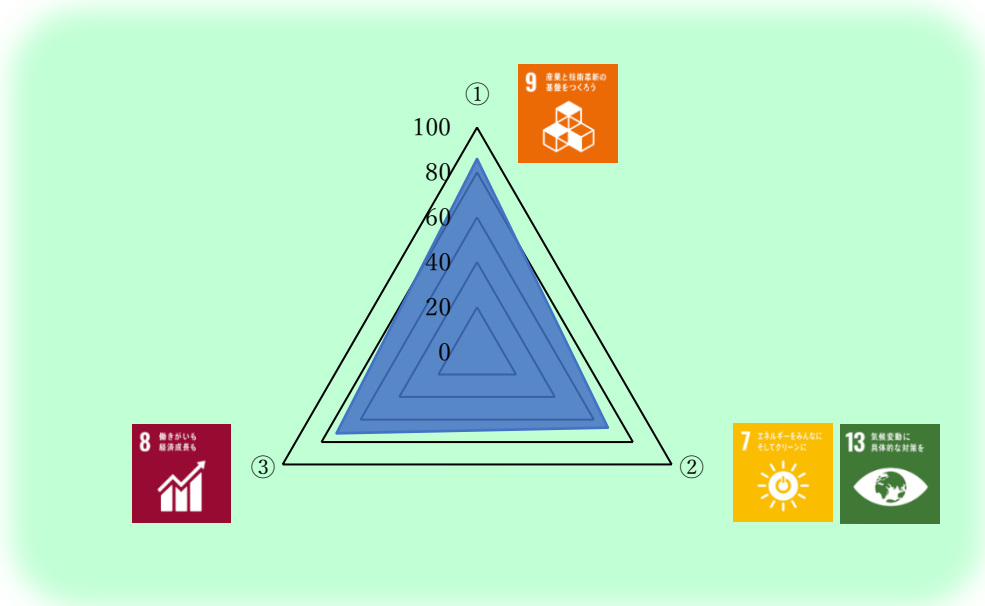
1. モニタリング対象

会社名	株式会社アドバンテックマルダイ
モニタリング基準日	2025年8月31日
当初評価日	2025年1月17日
融資・モニタリング期間	7年

2. KPI一覧

	KPI
移動手段 包括的で健全な経済	①2029年8月期までに年間売上高23億円を達成する (2024年8月期:19.6億円) ※以降の目標は改めて設定する
気候 資源効率・安全性	②2026年度(2026年4月～2027年3月)までにCO2排出量を 2017年度比40%削減する (2017年度:457,758kg-CO2) (2023年度実績:326,354kg-CO2(28.7%削減)) ※以降の目標は改めて設定する
雇用	③2026年度までに有給休暇取得率を90%以上とする (2023年度実績:82%) ※以降の目標は改めて設定する

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)事業の発展によるサプライチェーンへの貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・高い品質の維持や長年培ってきた技術による、多様なニーズへの対応を通じた受注量の増加 ・業務効率化による生産性向上 		
KPI・目標	①2029年8月期までに年間売上高23億円を達成する (2024年8月期:19.6億円) ※以降の目標は改めて設定する		
2024年度実績	①19.8億円	達成率	①86.1%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業関係案件が想定よりも伸び悩んだ影響もあり売上は微増で推移した。 ・今期はモデルチェンジに伴う自動車部門の売上増加が見込まれ、売上目標20.3億円を目指す。 		

(2)企業活動に伴う環境負荷の抑制・軽減

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電等クリーンエネルギーの活用推進 ・製造工程の効率化によるエネルギー消費の抑制
KPI・目標	②2026年度(2026年4月~2027年3月)までにCO2排出量を2017年度比40%削減する (2017年度:457,758kg-CO2)

	(2023年度実績:326,354kg-CO ₂ (28.7%削減)) ※以降の目標は改めて設定する		
2024 年度実績	②334,819kg-CO ₂ (26.9%削減)	達成率	②67.3%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度比で 26.9%削減した。 ・製造量の増加に伴い、2023 年度比では排出量は増加した。 		

(3)従業員が元気に働ける環境づくり

対応方針	・従業員のワークライフバランスの向上に向けた環境整備		
KPI・目標	③2026年度までに有給休暇取得率を90%以上とする (2023年度実績:82%) ※以降の目標は改めて設定する		
2024 年度実績	③65.1%	達成率	③72.3%
コメント	・有給休暇取得率 90%以上の従業員は 47 人中 15 人となり、全体を平均すると 65.1%となった。引き続き有給休暇を取得しやすい環境整備に努めていく。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

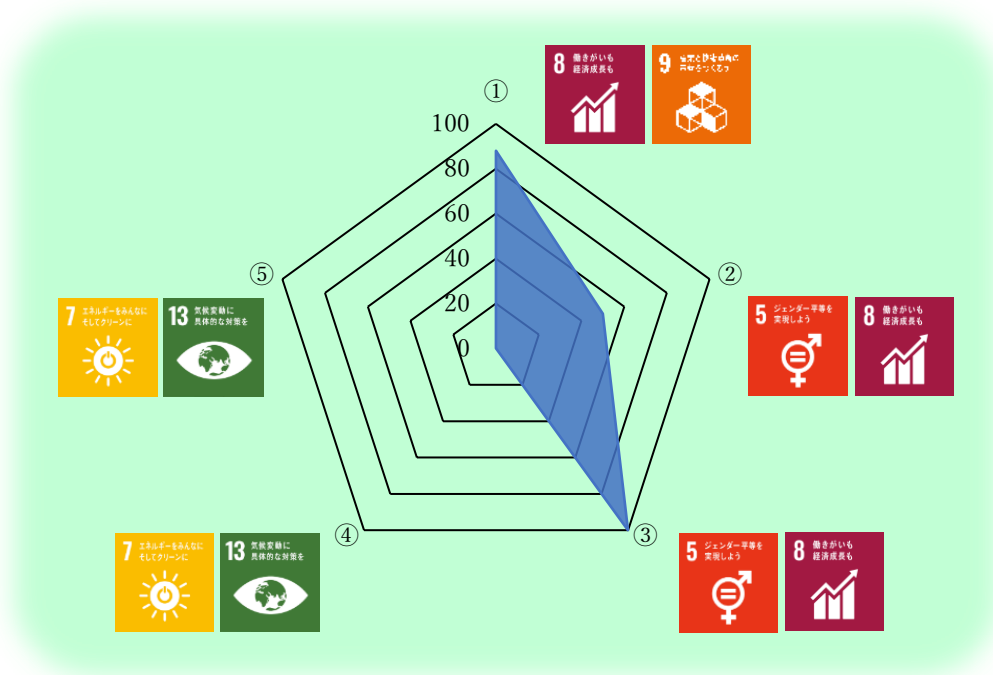
1. モニタリング対象

会社名	有限会社志村プレス工業所
モニタリング基準日	2025年9月30日
当初評価日	2024年11月29日
融資・モニタリング期間	10年

2. KPI一覧

	KPI
包括的で健全な経済	①労働生産性を2026年度までに、2023年度対比1.1倍にする (2023年度実績:3,114.2万円/人) (以降の目標は改めて設定する) ※労働生産性=売上高/決算期時点の従業員数
雇用	②2026年度までに、平均給与支給額を2023年度比で10%増加 (以降の目標は改めて設定する)
	③製造部門における女性比率50%以上を維持 (2023年度:50%)
資源効率・安全性 気候	④2034年度までに、温室効果ガス排出量を2023年度対比20%削減 (2023年度温室効果ガス排出量:120.9t)
	⑤2034年度までに、電気使用量を2023年度対比20%削減 (2023年度電力使用量:278,567kWh)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)生産性の向上による企業の発展

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・少量多品種、大量生産いずれにも対応できる体制整備による受注増加 ・効率的な人員配置、設備投資により自動化を推進し、生産性を向上 		
KPI・目標	①労働生産性を2026年度までに、2023年度対比1.1倍にする (2023年度実績:3,114.2万円/人) (以降の目標は改めて設定する) ※労働生産性=売上高/決算期時点の従業員数		
2024年度実績	①3,388.5万円/人	達成率	①88%
コメント	・効率的な人員配置、自動化の取組をすることで、着実に生産性を向上させている。来年度目標達成見込で、再度目標設定を予定する。		

(2)多様な人材が働きがいを持てる環境整備

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の利益を適切に従業員へ還元 ・簡易な操作で稼働する設備の積極導入により、多様な人材が製造業務に関われる体制を整備 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ②2026年度までに、平均給与支給額を2023年度比で10%増加（以降の目標は改めて設定する） ③製造部門における女性比率50%以上を維持（2023年度:50%） 		
2024 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ②前年度比 5%増加 ③女性比率 51% 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ②50% ③100%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・時給の引き上げを行い、平均給与支給額は 5%増加した。 ・現在21名の従業員に対し、11名の女性従業員を雇用している。今後新規採用で、女性2名を増やす予定。 		

(3)省エネルギー、脱炭素化の推進による環境への貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・製造過程におけるCO2 排出量、消費電力の削減 ・IoT 導入による電力使用時間の平準化、効率的な電気使用 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ④2034年度までに、温室効果ガス排出量を2023年度対比20%削減（2023年度温室効果ガス排出量:120.9t） ⑤2034年度までに、電気使用量を2023年度対比20%削減。（2023年度電力使用量:278,567kWh） 		
2024 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ④126.9t ⑤298,599kWh 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ④0% ⑤0%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・長期での目標設定との認識をしており、繁忙時期は温室効果ガス排出量が増加するため、やむなしと考えている。エネルギー会社との情報を共有し、自動化と労働環境の充実にに向けた取組を継続していく。 		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

1. モニタリング対象

会社名	株式会社AIKIリオテック
モニタリング基準日	2025年9月30日
当初評価日	2025年4月30日
融資・モニタリング期間	7年

2. KPI一覧

	KPI
零細・中小企業の繁栄	①2030年9月期までに国内売上を2024年9月期対比で70%増加させる (2024年9月期:812百万円、2023年9月期:651百万円) ※以降の目標は改めて設定
	②「AIKIパイロットマシンシリーズ」を年間平均2台新規開発する (2024年9月期:1台、2023年9月期:0台)
気候の安定性 大気	③2030年9月期までに社用車に占めるエコカー(EV、ハイブリッド)の割合を70%へ増加させる (2024年9月期:20%(1台/5台)) ※以降の目標は改めて設定
	④2030年9月期までに売上高当たりの電力使用量を2024年9月期対比で10%減少させる (2024年9月期:売上高千円当たりの使用量 0.30kWh) ※以降の目標は改めて設定
雇用 ジェンダー平等	⑤2030年9月期までに従業員数を100名以上とする (2024年9月期:40名) ※以降の目標は改めて設定
	⑥2027年9月期までにくるみん認定を取得する
	⑦2030年9月期までに女性役職者1名登用 (2024年9月期:0名) ※以降の目標は改めて設定
	⑧2030年9月期までに女性社員比率を2024年9月期対比で5%向上させる (2024年9月期:12.5%、5名/40名) ※以降の目標は改めて設定

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1) 事業拡大を通じた経済活動への貢献

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自社一貫の生産体制を生かした営業活動の展開 ・「AIKIパイロットマシンシリーズ」(紡糸機械やフィルムの成形ユニット等糸やフィルムに関する小型試作機)の開発 ・研究機関との連携強化 		
KPI・目標	<p>①2030年9月期までに国内売上を2024年9月期対比で70%増加させる (2024年9月期:812百万円、2023年9月期:651百万円) ※以降の目標は改めて設定</p> <p>②「AIKIパイロットマシンシリーズ」を年間平均2台新規開発する (2024年9月期:1台、2023年9月期:0台)</p>		
2024 年度実績	<p>①国内売上 909 百万円(11.9%増加)</p> <p>②新規開発:1 台</p>	達成率	<p>①17.0%</p> <p>②50%</p>
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維業界の生産拠点が日本国内へ回帰してきており、日本国内で大型製品の受注量が増え、増収となった。 ・受注量が増え売上を伸ばすことができた一方で、繁忙により開発時間が減少し開発は1台にとどまった。 		

(2)環境面に配慮した事業活動の展開

対応方針	・電気使用量可視化の継続、社内への啓蒙活動による省エネルギー化の推進		
KPI・目標	③2030年9月期までに社用車に占めるエコカー（EV、ハイブリッド）の割合を70%へ増加させる （2024年9月期：20%（1台/5台）） ※以降の目標は改めて設定 ④2030年9月期までに売上高千円当たりの電力使用量を2024年9月期対比で10%減少させる （2024年9月期：売上高千円当たりの使用量0.30kWh） ※以降の目標は改めて設定		
2024年度実績	③3/5台 ④2024年9月期比7.3%減 2025年9月期実績：496,817kWh 売上高：1,786,659千円 千円当たり電気使用量：0.278kWh	達成率	③60% ④73%
コメント	・リース契約更新のタイミングでハイブリッド車への切り替えを行い、社用車に占めるハイブリッド車の割合は増加した。 ・省エネ補助金を活用してレーザー加工機を入れ替えた。受注量は年々増加しているため工場稼働時間も増える見込みだが、設備の節電効果によって恒常的に電気使用量を抑制していく。		

(3)男女ともに働きやすく、キャリアアップできる職場環境づくり

対応方針	・育児休暇の取得推進や柔軟な勤務形態の整備・推進による従業員が長く働ける体制づくり ・資格取得支援等、従業員がスキルアップできる環境整備		
KPI・目標	⑤2030年9月期までに従業員数を100名以上とする （2024年9月期：40名） ※以降の目標は改めて設定 ⑥2027年9月期までにくるみん認定を取得する ⑦2030年9月期までに女性役職者1名登用 （2024年9月期：0名） ※以降の目標は改めて設定 ⑧2030年9月期までに女性社員比率を2024年9月期対比で5%向上させる （2024年9月期：12.5%、5名/40名）		

※以降の目標は改めて設定									
2024 年度実績	<table border="1"> <tr> <td>⑤従業員数:45 名</td> <td>⑤45%</td> </tr> <tr> <td>⑥くるみん認定未取得</td> <td>⑥0%</td> </tr> <tr> <td>⑦女性役職者:0 名</td> <td>⑦0%</td> </tr> <tr> <td>⑧女性社員比:11.1%(5 名/45 名)</td> <td>⑧0%</td> </tr> </table>	⑤従業員数:45 名	⑤45%	⑥くるみん認定未取得	⑥0%	⑦女性役職者:0 名	⑦0%	⑧女性社員比:11.1%(5 名/45 名)	⑧0%
⑤従業員数:45 名	⑤45%								
⑥くるみん認定未取得	⑥0%								
⑦女性役職者:0 名	⑦0%								
⑧女性社員比:11.1%(5 名/45 名)	⑧0%								
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・中途採用で 5 名入社。順調に各部署に人員を増やすことができている。 ・未取得。女性の育休取得実績ができたタイミングで取得できるよう制度の整備等は完了している。 ・未達成。全社で役職者育成研修を実施し、候補者にも参加してもらった。研修で取り上げた業務改善のプロジェクトは女性従業員が中心となり取組みを継続している。 ・今年度は男性 5 名を採用したため、女性従業員比は低下した。 								

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

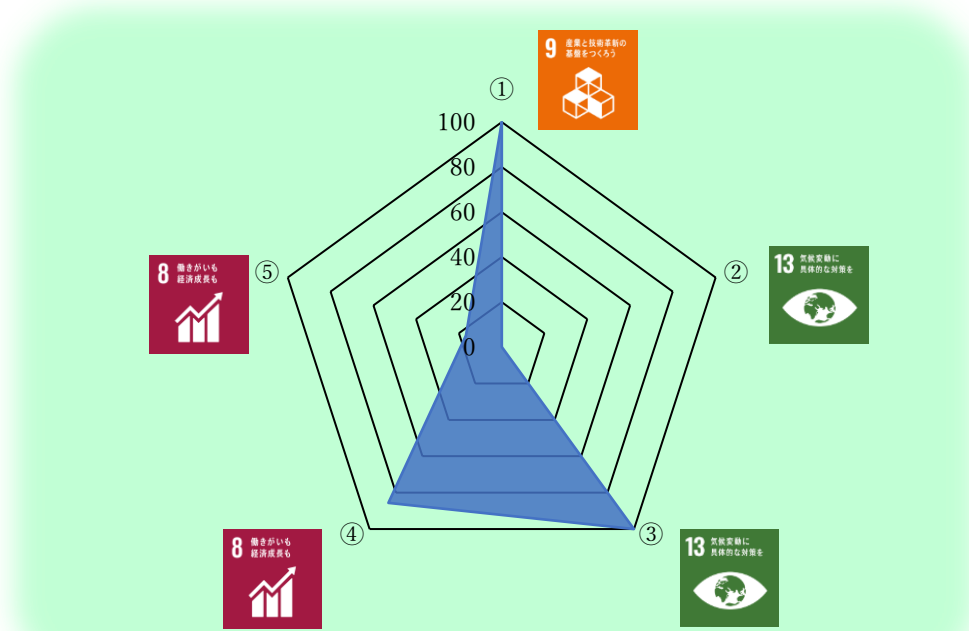
1. モニタリング対象

会社名	睦産業株式会社
モニタリング基準日	2025年9月30日
当初評価日	2025年8月29日
融資・モニタリング期間	5年

2. KPI一覧

	KPI
零細・中小企業の繁栄 インフラ	①2025年9月期以降每期、当社の主力商品である「伝導・駆動器」の売上高を前期比3%増加させる (2022年9月期実績:73.7億円) (2023年9月期実績:83.4億円) (2024年9月期実績:54.0億円)
気候の安定性	②2025年9月期以降每期、名古屋本社・大垣営業本部事務所・刈谷営業所・あかつ台センターにおける合計電気使用量を前期比3%ずつ低減させる (2022年9月期実績:121,914kWh) (2023年9月期実績:106,174kWh) (2024年9月期実績:108,828kWh)
	③ISO14001の認定を継続取得する
健康および安全性	④2030年9月期における従業員の有給休暇取得率を70%以上とする (2024年9月期実績:60%)
	⑤2030年9月期における従業員の月平均残業時間を7時間以内とする (2024年9月期実績:10時間)

3. 達成状況チャート(全体)



※KPI②の達成率は 100%超となっているが、チャート上は 100%にて掲載している。

4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1) 取扱商品の充実と供給量増加による地域経済への貢献

<p>対応方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多数のメーカーとの連携及び迅速な調達 ・営業担当者による的確な取引先のニーズ把握ときめ細かいサービスの提供 ・伝導・駆動機器(※)の安定供給を通じた取引先の生産性向上への貢献 <p>※軸受け、減速機、変速機、伝導ベルト、チェーン、ギヤなど。 主に産業機械で用いられ、製造の無人化・自動化に寄与する</p>		
<p>KPI・目標</p>	<p>①2025 年 9 月期以降每期、当社の主力商品である「伝導・駆動機器」の売上高を前期比 3%増加させる</p> <p>(2022 年 9 月期実績:73.7 億円) (2023 年 9 月期実績:83.4 億円) (2024 年 9 月期実績:54.0 億円)</p>		
<p>2024 年度実績</p>	<p>①前期比 7.0%増加 (2025 年 9 月期実績:57.8 億円)</p>	<p>達成率</p>	<p>①233.3%</p>
<p>コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の受注増加に伴い、主力商品である「伝導・駆動機器」も増加した。 ・引き続き人材育成に注力し、営業担当者のスキルアップを図り、付加価値向上させていく。 		

(2)環境負荷低減に向けた取組みの強化

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・社用車の EV 導入強化 ・各施設における冷暖房設備の適切な温度調整 ・社内全体でのペーパーレス化の推進 		
KPI・目標	②2025 年 9 月期以降每期、名古屋本社・大垣営業本部事務所・刈谷営業所・あかつ台センターにおける合計電気使用量を前期比 3%ずつ低減させる (2022 年 9 月期実績:121,914kWh) (2023 年 9 月期実績:106,174kWh) (2024 年 9 月期実績:108,828kWh) ③ISO14001 の認定を継続取得する		
2024 年度実績	②前期比 4.8%増加 (2025 年 9 月期実績:114,067kWh) ③認定継続中	達成率	②20% ③100%
コメント	・前期比売上増加に伴い、営業所及び配送センターの稼働率が増加したことを要因に前期比増加した。引き続き社用車の EV 導入や、社内の電気使用量削減対策により低減を目指していく。		

(3)ワークライフバランスを重視した就労環境の整備

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇制度の見直しや新たな制度の導入 ・管理職による休暇取得促進の為の声掛け実施 ・従業員一人一人に対する適切な業務の割り当て(業務量の平準化) 		
KPI・目標	④2030 年 9 月期における従業員の有給休暇取得率を 70%以上とする (2024 年 9 月期実績:60%) ⑤2030 年 9 月期における従業員の月平均残業時間を 7 時間以内とする (2024 年 9 月期実績:10 時間)		
2024 年度実績	④2025 年 9 月期実績:有給取得率 60% ⑤2025 年 9 月期実績:9.5 時間	達成率	④85.7% ⑤16.7%
コメント	・前期比売上高増加に比例して業務量が増加したため、有給取得率は低下したが、月平均残業時間は減少した。 ・有給休暇取得の推奨に加えて、残業削減の取組に注力し目標達成を目指していく。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

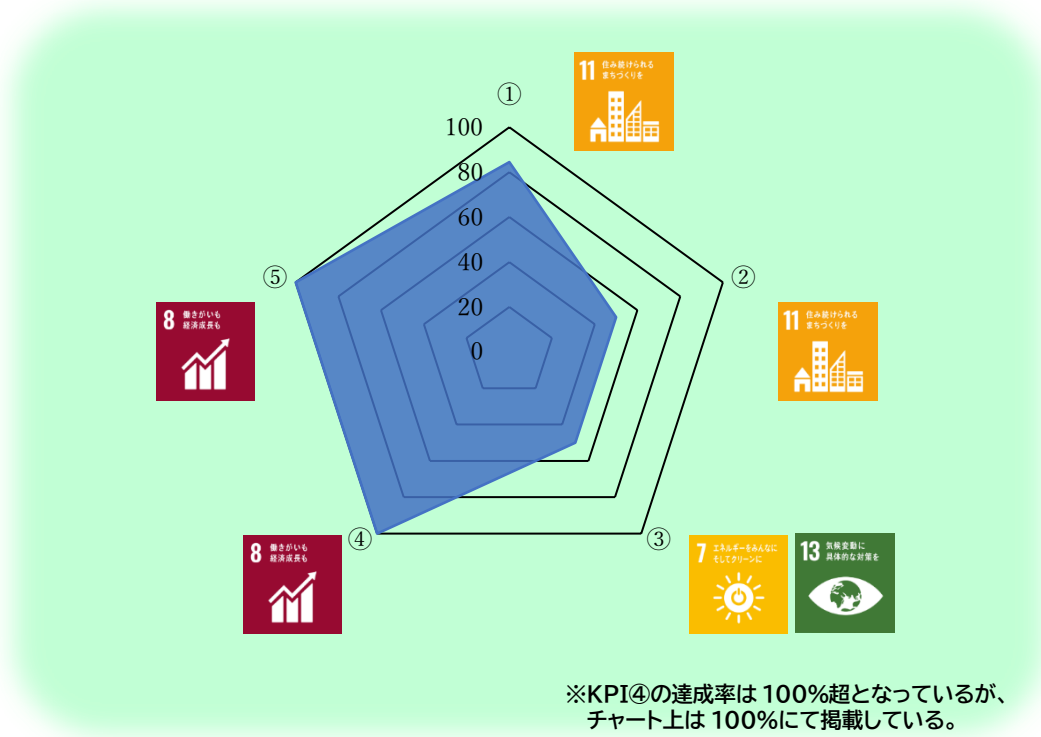
1. モニタリング対象

会社名	株式会社ディーシー・クリエイト
モニタリング基準日	2025年10月31日
当初評価日	2025年3月31日
融資・モニタリング期間	5年

2. KPI一覧

	KPI
包括的で健全な経済	①2030年10月期までに売上高100億円を達成する (2024年10月期実績:66億円)
	②2030年10月期までに営業拠点を4拠点にする (2024年10月期時点:2拠点)
気候	③2028年10月期までに社用車をガソリン車からEV・HVに切り替える (2024年10月期時点:社用車10台中ガソリン車2台) ※以降の目標は改めて設定
雇用	④2030年10月期までの間、従業員を每期1名以上増加させる (2024年10月期:従業員15名)
	⑤2030年10月期まで每期、従業員1人あたりの給与支給額を前期比 1.5%以上増加させる

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1) 不動産流通事業を通じた地域の活性化

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・営業エリアの拡大と商業用不動産の販売力強化によるまちづくり・地域活性化への貢献 ・他エリア(名古屋・大宮以外)への進出 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ①2030年10月期までに売上高100億円を達成する (2024年10月期実績:66億円) ②2030年10月期までに営業拠点を4拠点にする (2024年10月期時点:2拠点) 		
2024 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①84.99 億円 ②2 拠点 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ①84.99% ②50%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業が好調であり、売り上げは大きく増加した。 ・新たに西日本への拠点開設に向けて、現在は候補地の選定を行っている段階である。 		

(2)環境負荷の軽減

対応方針	・EVまたはHVの導入		
KPI・目標	③2028年10月期までに社用車をガソリン車からEV・HVに切り替える (2024年10月期時点:社用車10台中ガソリン車2台) ※以降の目標は改めて設定		
2024 年度実績	③10 台中 9 台を EV・HV 車へ切り替え (ガソリン車 2 台→1 台へ削減)	達成率	③50%
コメント	・社用車の入れ替えにあたり、新たに HV 車を導入した。ガソリン車は残り 1 台となった。		

(3)従業員の働きがいの向上

対応方針	・新たな営業エリアへの進出に伴う当該地域での雇用創出 ・ベースアップの実施		
KPI・目標	④2030年10月期までの間、従業員を每期1名以上増加させる (2024年10月期:従業員15名) ⑤2030年10月期まで每期、従業員1人あたりの給与支給額を前期比1.5%以上増加させる		
2024 年度実績	④2 名増加 ⑤平均 1.5%増加(中途採用は除く)	達成率	④200% ⑤100%
コメント	・大宮で 1 名、名古屋で 1 名を新たに採用。初年度は当初目標以上の実績を残すことができた。 ・平均で前期比 1.5%増加、初年度目標を達成することができた。		

以上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

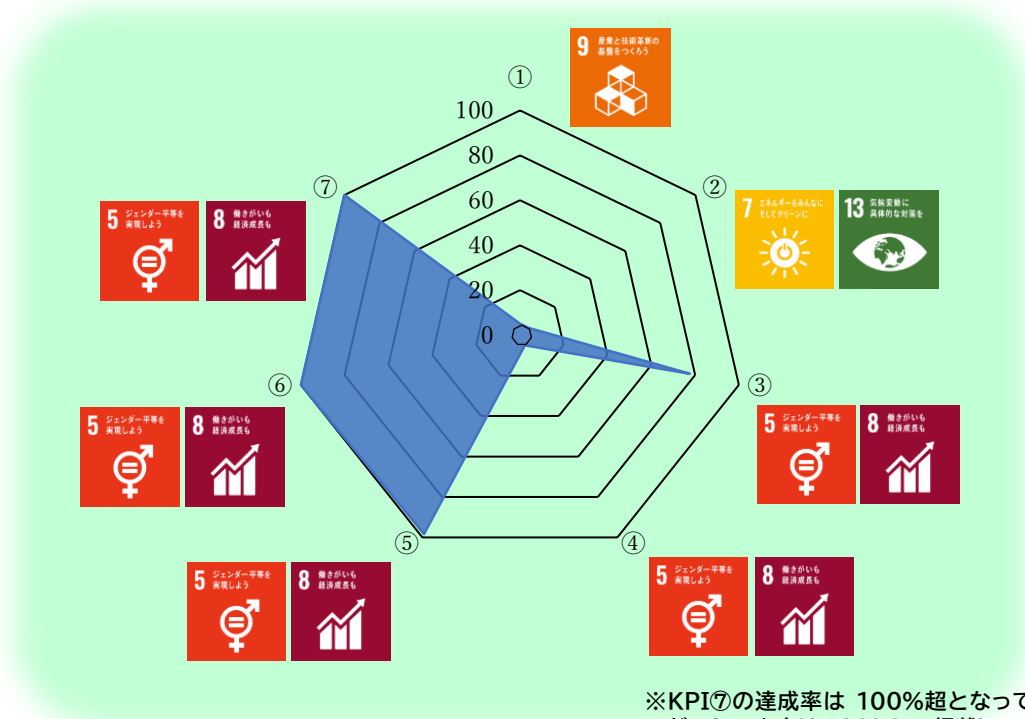
1. モニタリング対象

会社名	福玉精穀倉庫株式会社
モニタリング基準日	2025年11月30日
当初評価日	2025年3月31日
融資・モニタリング期間	5年

2. KPI一覧

	KPI
包括的で健全な経済	①2030年11月期までに所有倉庫の営業総面積を10%増加させる (2024年11月期実績:17.4万坪)
エネルギー 気候	②2030年11月期までに太陽光発電設備による発電容量を3.5メガワットまで高める (2024年11月期実績:2.5メガワット)
雇用	③2030年11月期までに従業員の5年間定着率を65%まで向上させる (2024年11月期実績:55%)
	④2030年11月期までに従業員の残業時間を17時間/月に削減する (2024年11月期実績:21時間/月)
	⑤2030年11月期までに従業員の有給休暇取得率を60%まで向上させる (2024年11月期実績:47%)
	⑥2030年11月期までに産休・育休取得率を100%にする (2024年11月期実績:86%)
	⑦2030年11月期までに役職者に占める女性割合20%まで高める (2024年11月期実績:13%)

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)倉庫にプラスアルファの機能を持たせた「活きた倉庫」をより多くのお客様に

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> お客様のニーズを的確に把握し迅速に対応する 倉庫にプラスαの機能を持たせた「活きた倉庫」を物流サービスの中核にする 倉庫面積を広くすることで物流面から地域経済に貢献する 		
KPI・目標	①2030年11月期までに所有倉庫の営業総面積を10%増加させる (2024年11月期実績:17.4万坪)		
2024 年度実績	①17.4 万坪	達成率	①0%
コメント	・現在、愛知県小牧市に倉庫を建設中であり、2027年2月頃の完成を予定。0.65万坪の営業総面積増加を見込む。		

(2)環境保全の推進

対応方針	・倉庫屋上への太陽光パネル増設による、自社のCO2排出量削減と地域の脱炭素化への貢献
KPI・目標	②2030年11月期までに太陽光発電設備による発電容量を3.5メガワットまで高める (2024年11月期実績:2.5メガワット)

2024 年度実績	②2.5 メガワット	達成率	②0%
コメント	・前年度からの増加はなし。現在愛知県小牧市に建設中の倉庫に関して、入居状況も注視しながら新たな太陽光発電設備の設置を検討していく。		

(3)ダイバーシティとワークライフバランスの推進

対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員のワークライフバランス向上 ・女性が働きやすい環境の整備とキャリアアップ応援 <ul style="list-style-type: none"> -社内相談窓口の設置、面談回数・時間の増加 -定例営業会議にて従業員の残業時間を共有し、原因把握し対策を講じる -有給奨励日の設定 -産休・育休制度の社内周知 -産休・育休制度の強化により女性社員の定着率向上を図る 		
KPI・目標	<ul style="list-style-type: none"> ③2030年11月期までに従業員の5年間定着率を65%まで向上させる (2024年11月期実績:55%) ④2030年11月期までに従業員の残業時間を17時間/月に削減する (2024年11月期実績:21時間/月) ⑤2030年11月期までに従業員の有給休暇取得率を60%まで向上させる (2024年11月期実績:47%) ⑥2030年11月期までに産休・育休取得率を100%にする (2024年11月期実績:86%) ⑦2030年11月期までに役職者に占める女性割合を20%まで高める (2024年11月期実績:13%) 		
2024 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ③直近 5 年間の入社人数:131 名 直近 5 年間の退職者人数:65 名 定着率 50.4% ④2025年 11 月実績 26.5 時間/月 ⑤2025 年実績 59% ⑥2025 年実績 100% ⑦2025 年実績 21% 	達成率	<ul style="list-style-type: none"> ③77.5% ④0% ⑤98.3% ⑥100% ⑦105%
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員定着率は直近 5 年間で 131 名が入社も 65 名が退職し、定着率は 50.4%となった。 ・平均残業時間は 26.5 時間/月で 26%増加した。業務繁忙により想定よりも残業対応するケースが増えたことが要因となった。 ・有給休暇取得率は 59%でおおむね目標値を達成することができた。引 		

	<p>引き続き社内への有給休暇の取得奨励を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産休・育休取得率は 100%を達成することができた。引き続き取得率の定着維持を目指す。 役職者に占める女性割合は 21%となり、目標を達成することができた。引き続き性別にとらわれない登用を行っていく。
--	---

以上

【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では株式会社栄町リサーチ&コンサルティングがインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）株式会社あいち銀行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

